

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

企画展

武蔵野鉄道 開通110周年

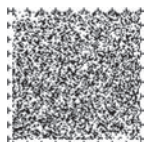
— 西武池袋線と沿線のおゆみ —



令和7(2025)年
4月12日(土)
▼
6月8日(日)

観覧無料

右上から
記念乗車券 ありがとう!としまえん(台紙) 令和2(2020)年
西武池袋線(桜台~大泉学園駅間)全線高架化記念乗車券(台紙)
平成27(2015)年
西武有楽町線 新桜台小竹向原間開通記念乗車券(包紙) 昭和58(1983)年
西武池袋線沿線案内(部分) 昭和54(1979)年
武蔵高等学校絵葉書 第28集 昭和15(1940)年頃
国策線に沿った大泉労働の家土地附特売(武蔵野電車不動産課)
昭和13(1938)年



Uni-Voice



練馬区立 石神井公園

ふるさと文化館

NERIMA SHAKUJIIKOEN FURUSATO MUSEUM

企画展 「武蔵野鉄道開通110周年 — 西武池袋線と沿線のあゆみ —」

会 期: 令和7年4月12日(土)~6月8日(日)

会 場: 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室

観覧料: 無料

令和7年は、大正4(1915)年4月に、武蔵野鉄道(現西武池袋線)が開通してから、110年にあたります。西武池袋線は、池袋を始点として練馬区域を東西に走る鉄道で、昔も今も練馬区民の重要な交通機関となっています。

本展では、様々な資料から武蔵野鉄道開通以後の地域の変化を見ていきます。



石神井停車場(現 石神井公園駅) 大正5(1916)年

詳しくは、本展チラシ、
当館ホームページを
ご覧ください



関連イベント

講演会 武蔵野鉄道と大泉学園都市 — 箱根土地会社の土地開発 —

日時	5月25日(日) 14時~16時
講師	老川慶喜(立教大学名誉教授)
参加費	無料
定員	90名(抽選) 申込 事前申込制
会場	石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

展示解説会

日時	4月30日(水)、6月8日(日) 各回14時~(30分程度)
参加費	無料
会場	石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室(直接会場にお集まりください)

コラム 照日塚と姫塚 — 三宝寺池周辺の観光地化 —

三宝寺池の北側の姫塚は、現在では、文明9(1477)年の石神井城落城時の城主豊嶋泰経の娘の供養のために祀った塚といわれていますが、元々は照日塚と言われていました。史料からその変遷をたどります。

文政9(1826)年成立の地誌『新編武蔵風土記稿』の三宝寺池挿絵には、現在の姫塚の地点に「照日塚」とあり、照日塚は室町時代の三宝寺第六世の定宥(照日上人)にちなんだ場所と記されています。定宥には、所用があつて京へ上った際に、8月の十五夜の月見の宴に招待され、名月を「月はなし 照日のままの 今宵かな」と詠んだ歌が絶賛され、照日上人の号を朝廷から賜ったという伝説があります。

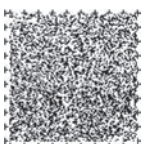
この照日塚が「姫塚」と呼ばれるようになるきっかけは、明治29(1896)年に、小説家の遅塚麗水が照日塚から着想を得て、文明9(1477)年の石神井城落城に関わる姫君の悲話を創作し、執筆した小説『照日松』にあります。京の公家の娘・照日姫が豊島氏当主・泰経の弟・泰明と恋仲になりますが、太田道灌との戦いで泰明は討死、直後の石神井城落城の際、照日姫は豊島氏と運命を共にしたという話です。『都新聞』に連載後、書籍となり、石神井城落城の悲話が広まっていきました。

大正4(1915)年、武蔵野鉄道開通後、地元の人々は三宝寺池周辺の観光

地化に努めます。大正6(1917)年には、石神井村の有志が観光案内『石神井案内』を刊行しました。この中では「照日塚を一名姫塚と云ひ其東方に殿塚あり」と、照日塚に姫塚を重ねて記しています。姫塚と殿塚の初出ですが、姫塚が何であるかの説明はありません。本書には『照日松』の作者・遅塚麗水が序文を寄せており、この記載にも影響を与えていることが推測されます。その後、昭和8(1933)年、武蔵野郷土向上会発行の観光案内『石神井名所案内』では、照日塚(姫塚)が豊島氏と関連付けて紹介されます。本書内の地図では照日塚ではなく姫塚・殿塚と記され、本文には「太田道灌に懇願されたと云ふ美姫の照日塚あり東方に亦殿塚あり。豊島哀史を彩る愛飲の戦死の所といふ。かつて照日上人の句碑を刻みし石碑があつたと。」とあり、照日塚が豊島氏を祀った塚であることを記しつつ、照日上人に関する内容を付け足して説明しています。

鉄道の開通後に制作されたこれらの観光案内の記載も相まって、照日塚は次第に豊島氏に関わる史跡・姫塚として定着していったようです。石神井公園周辺では、石神井城や石神井公園に親しむ行事として「照姫まつり」が行われ、令和7(2025)年4月で38回目を迎えます。企画展では本コラムで記した資料も紹介します。

(学芸員 小宮佐知子)



分室

練馬区ゆかりの漫画家作品展示

令和6(2024)年1月から、分室では練馬区ゆかりの漫画家の方々の作品を展示しています。3か月に1度、展示替えをしており、これまで下記のとおり8名の先生にご協力いただきました。

令和7(2025)年1月から3月は、『雨の朝サブは…』(原作: 梶原一騎)、『マイコン刑事』(原作: 鷹見吾郎)などを手掛け、当館のワークショップ「やってみよう! プロの漫画家に教わる漫画教室」の講師でもある下條よしあき先生と、元寇をテーマにした『アンゴルモア 元寇合戦記』を連載中のたかぎ七彦先生の作品を展示しています。

普段なかなか目にすることのできない直筆のサイン色紙や原画などを間近で見ることのできる機会です。今後も定期的に展示替えを行いますので、ぜひお越しください。

©はしもとみつお「築地魚河岸三代目」原画



令和6年	漫画家	展示作品	漫画家	展示作品
これまでの展示	1~3月	魚戸おさむ 『がんばりょんかあ、マサコちゃん』 『はっぴーえんど』など	はしもとみつお	『築地魚河岸三代目』 『カレーマン』など
	4~6月	青木朋 『天空の玉座』 『天上恋歌~金の皇女と火の薬師~』など	本庄敬	『蒼太の包丁』 『旭山動物園物語』など
	7~9月	高宮ニカ 『失恋未遂』 『帝都の使用人は恋染むる』など	武村勇治	『蟻地獄』 『仕掛人 藤枝梅安』など
	10~12月	黒丸 『クロサギ』 『東京サラダボウル』など	近藤たかし	『境界のエンドフィール』 『漫画版 論語と算盤』など



©魚戸おさむ・宮崎 克/小学館『がんばりょんかあ、マサコちゃん』原画



令和6年10月~12月の展示風景

石神井公園ふるさと文化館デジタルスタンプラリー

令和7年度も
開催予定

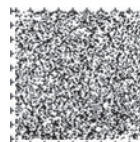
石神井公園ふるさと文化館と分室で魚戸おさむ先生・はしもとみつお先生のデジタルスタンプを集めると、村上もとか館長の待ち受け画面がもらえます。

すべて描き下ろし!!

令和7年度 展覧会年間予定(展覧会名、会期、※1は仮称)

- 企画展 武蔵野鉄道開通110周年 — 西武池袋線と沿線のあゆみ — 令和7年4月12日(土)~6月8日(日)
- 特別展 練馬とアニメーション※1 令和7年6月21日(土)~8月11日(月・祝)
- 特別展 昭和 日常の風景 —「昭和100年」※1 令和7年9月13日(土)~11月3日(月・祝)
- 企画展 幕末・明治の浮世絵 —都市と周縁※1※2 令和8年1月25日(日)~3月8日(日)

※2 練馬区立美術館と当館の収蔵品を活用した展覧会



催し物のご案内(4月～6月)

石神井公園ふるさと文化館展覧会

企画展「武蔵野鉄道開通110周年 — 西武池袋線と沿線のあゆみ —」

4月12日(土)～6月8日(日)

※展覧会および開催イベントの詳細等につきましては、
2ページをご覧ください。

特別展「練馬とアニメーション(仮称)」

6月21日(土)～8月11日(月・祝)

季節展示

旧内田家住宅にて歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

五月人形飾り 4月26日(土)～5月6日(火・休) 観覧無料

七夕飾り 7月3日(木)～8日(火) 観覧無料

季節体験事業

ちがや馬作り 7月5日(土) 14時～16時

対象 小学生以上

定員 20名

参加費 無料

申込 事前申込制

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

沿線案内図からみた武蔵野鉄道・旧西武鉄道の 沿線開発(仮称)

6月1日(日) 14時～16時

講師 奥原哲志(鉄道博物館主幹学芸員)

定員 90名(抽選)

参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

申込 事前申込制

ギャラリー展

写真展 ホタル—生命の輝き—

5月31日(土)～7月13日(日) 観覧無料

ホタルの夕べ

当館で育ったホタルの鑑賞会を行います。
淡い光をお楽しみください。

開催 6月中旬頃 事前申込制

詳しくは5月頃、ホームページ等でお知らせします。

その他イベント

やってみよう!プロの漫画家に教わる漫画教室

5月から9月の土曜日14時～15時30分 全8回

対象 小学5年生～高校生優先

保護者の参加もしくは付き添い可能

定員 30名(抽選)

参加費 1,000円(8回分)を初回に支払い(返金なし)

申込 事前申込制

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室など

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

4月26日(土)、5月24日(土)、6月28日(土)

①13時30分～15時 ②15時30分～17時

対象 中学生以上

定員 各回20名(抽選)

参加費 各回300～500円(解説員により異なる)

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階
五味康祐オーディオ展示室

申込 事前申込制

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、なりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内(令和7年3月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) **入館無料** ※特別展は一部を除いて有料
休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

石神井公園ふるさと文化館

徒歩10分

分室

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分
西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分

西武バス 荻14

(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅)

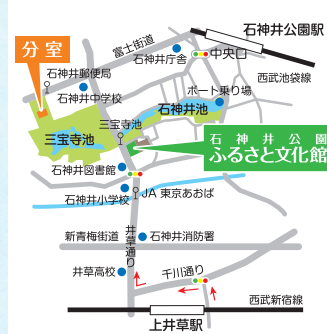
みどりバス 関町ルート (関町福祉園～武蔵関駅南口～
上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)
「JA東京あおば」下車 徒歩5分

西武バス 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～
荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)
「三宝寺池」下車 徒歩2分

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

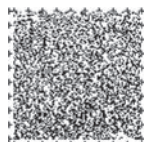
西武バス 吉60 (成増町～石神井公園駅北口
～上石神井駅～吉祥寺駅)

西武バス 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅
～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)
「石神井郵便局」下車 徒歩3分



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.54

令和7(2025)年3月1日発行



編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061